

第6章

環境の保全に連携して取り組むまち (環境教育・連携)

第1節 環境教育・環境学習を進めます

- 施策1 環境教育・環境学習の充実
- 施策2 地産地消の促進
- 施策3 環境情報の活用

第2節 市民・事業者・NPO等との連携を進めます

- 施策1 人材の育成やネットワーク化の推進
- 施策2 環境保全活動の促進

第1節 環境教育・環境学習を進めます

施策1 環境教育・環境学習の充実

1 環境教育副読本

本市では、環境と市民生活との関わりや身近な環境問題に関する理解を深めるために小学生の環境教育に取り組んでいます。毎年、小学4～6年生向けに、写真やイラスト等を用いて本市の環境保全についてわかりやすく紹介した「環境教育副読本」を市内の全小学校へ配布し、環境教育に活用しています。



環境教育副読本

2 環境ブックの読み聞かせ運動

2022（令和4）年6月1日～30日の期間に、子ども自らが環境問題に関心を持ち、学習し、将来にわたって環境問題について考えるきっかけづくりを目的として、市民図書館等に環境関連図書を集めたコーナーを175箇所設置しました。

また、市内の幼児、児童、小学生を対象に、110団体が環境ブックの読み聞かせ運動を2,031回実施し、参加者は延べ74,258人でした。



環境ブックの読み聞かせの様子

3 エコチャレンジ日誌

12月に、「やってみよう！エコチャレンジ！」の取組として小学生、中学生を対象に、自宅における節電、節水などの省エネ行動（エコチャレンジ）の実施及びエコチャレンジ日誌の作成を呼びかけました。参加者の約73%から日誌の提出があり、期間中の二酸化炭素の削減量は、全体で約26tでした。

(1)実施期間

- ◇小学1～4年生 2022（令和4）年12月7日
- ◇小学5・6年生、中学生 2022（令和4）年12月5日～12月11日

(2)実施結果

①エコチャレンジ日誌提出率

- ◇小学1～4年生 81.5%（13,439人/16,495人）
- ◇小学5・6年生 58.0%（4,947人/8,524人）
- ◇中学生 70.8%（9,294人/13,120人）

②チャレンジ結果から算定した一週間の二酸化炭素の削減量

- ◇小学5・6年生 8,911kg
- ◇中学生 16,667kg

4 エコスクールの整備促進

(1)概要

地球規模の環境問題に対応するため、学校においても、環境負荷の低減や自然との共生を考慮した施設（エコスクール）を整備するとともに、未来を担う子どもたちが環境問題を身近に感じられるよう工夫を凝らすことが重要となっています。

このため、本市の小中学校の施設を改築又は新增築する際は、次の3つの事項に留意した施設整備に努めています。

①施設面・・・やさしく造る

- ◇学習空間・生活空間として健康で快適である
- ◇環境への負荷を低減させる

②運営面・・・賢く・永く使う

- ◇耐久性やフレキシビリティに配慮する
- ◇自然エネルギーを有効活用する
- ◇無駄なく、効率よく使う

③教育面・・・学習に資する

- ◇環境教育に活用する

(2)具体的方法

①太陽光発電型

- ◇屋上・屋根等に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を活用する。また、太陽光発電システムの表示パネルの設置により省エネ効果を可視化する。(資料編P129 資8-10 参照)

②省エネルギー・省資源型

- ◇省エネ型設備・・・省エネルギー型の照明器具等の導入を図る。
- ◇雨水利用・・・建物の屋根から集めた雨水を貯水槽に貯め、校庭の散水等への利用を図る。

③自然共生型

- ◇建物緑化・・・屋上の緑化等を行うことで自然との共生を考慮した施設とする。

④木材利用型

- ◇地域材等の利用・・・地域材の利用などにより内外装を木質化することで健康で快適な学習・生活空間の実現を図る。

(3)現在までの整備状況

エコスクールとしての整備を行い、国の「エコスクールパイロット・モデル事業」の認定校としての指定を受けている小中学校及び義務教育学校は表のとおりです。

エコスクール認定校の一覧

認定校指定年度	学校名	事業内容	
2003(H15)	大在西小学校	新築	[2004(H16)年度完成]
2005(H17)	王子中学校	体育館改築	[2005(H17)年度完成]
2006(H18)	上野ヶ丘中学校	校舎改築	[2007(H19)年度完成]
	神崎中学校	校舎改築	[2007(H19)年度完成]
2007(H19)	松岡小学校	校舎増築	[2008(H20)年度完成]
2008(H20)	佐賀関小学校	体育館改築	[2008(H20)年度完成]
	佐賀関中学校	体育館改築	[2008(H20)年度完成]
2009(H21)	大在中学校	校舎増築	[2010(H22)年度完成]
2010(H22)	大道小学校	校舎改築	[2011(H23)年度完成]
	坂ノ市小学校	校舎改築	[2011(H23)年度完成]
	滝尾中学校	校舎増築	[2011(H23)年度完成]
2011(H23)	(旧)荷揚町小学校	体育館改築	[2011(H23)年度完成]
	南大分小学校	校舎・体育館改築	[2012(H24)年度完成]
2012(H24)	春日町小学校	校舎改築	[2013(H25)年度完成]
2013(H25)	鶴崎小学校	校舎改築	[2014(H26)年度完成]
2014(H26)	敷戸小学校はばたき分校	新築	[2014(H26)年度完成]
	植田東中学校はばたき分校	新築	[2014(H26)年度完成]
	大在小学校	校舎改築	[2015(H27)年度完成]
2015(H27)	碩田学園	新設	[2016(H28)年度完成]

5 大分市環境展、環境ポスター展

(1)大分市環境展

6月の環境月間中に大分市環境展や環境ポスター展を開催して、市民一人ひとりの環境保全に関する理解の促進と意識の高揚を図っています。

開催日	2022(R4)年6月4日
場 所	ガレリア竹町ドーム広場
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市環境ポスター展表彰式及び展示 ・エコグッズの展示、作製 ・大分に生息している生物の展示 ・環境科学実験の実演 ・生ごみ処理容器（コンポスト等）の展示 ・汚泥リサイクル堆肥の無料配布(500袋) ・緑のカーテンの苗やトイレトーパー（再生紙）等と交換できるスタンプラリーの実施 ・燃料電池自動車の展示 ・ステージイベント



環境展の会場全景



ブース出展

(大分に生息している生物の展示)

(2)大分市環境ポスター展

市内の小中学生と友好都市等の小中学生から、環境問題をテーマとしたポスターを募集し、応募作品の展示を通じて多くの市民に環境保全の大切さについて啓発を行いました。

開催日	2022(R4)年6月17日～6月30日
場 所	J:COM ホルトホール大分 1階 エントランスホール
応募数	392点(武漢市33点、広州市27点を含む)
内 容	応募作品の展示 受賞作品の表彰式



環境ポスターの展示

6 地球温暖化対策出前授業

環境保全に対する子どもたちの意識の高揚を図るために、地球温暖化対策おおいた市民会議と共同で地球温暖化対策出前授業を開催しています。

2022(令和4)年度は、小学校14校、中学校6校において、地球温暖化対策おおいた市民会議の委員や本市職員が講師となり、「大分市地球温暖化対策ガイドブック」を使って「温暖化の仕組み」や「市民一人ひとりの取組の大切さ」について講義を行いました。



地球温暖化対策出前授業

7 環境に関する各種の教室・講座

環境や自然に関する教室・講座を各地区公民館やのつはる少年自然の家で開催し、学習や体験活動を通じて身の回りの環境や自然について、理解を深める機会としています。

2022（令和4）年度は、自然ウォッチングや自然体験学習会、環境問題やリサイクル等の学習会を106回開催しました。このうち、のつはる少年自然の家では、自然に親しみ、人と自然との豊かなふれあいを学ぶことを目的として、松ぼっくりや竹、ラベンダー等、自然の素材を用いた工作活動や星空観察会などを9回開催しました。



ヘルスアップ教室
(のつはる少年自然の家)

8 「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」・「まちづくり出張教室」による啓発活動

市民への啓発活動の一環として、本市職員が講師となり、ごみ減量・リサイクルの推進に関する各種施策の紹介等を行う「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」や「まちづくり出張教室」を開催しています。

2022（令和4）年度は、正しい分別と生ごみの減量・食品ロスの削減を推進するため、参加者に啓発DVDを通じて、「4R運動」「3きり運動」の実践を呼びかけました。また、紙製水きり袋などの各種啓発物品を参加者へ配布しました。

- ◇「ごみ減量・リサイクル推進懇談会」 17回 出席者 253人
- ◇「まちづくり出張教室」 1回 出席者 100人



ごみ減量・リサイクル推進懇談会



まちづくり出張教室



各種啓発物品

9 大分エコライフプラザ

本施設では、4Rに関する「展示・学習コーナー」や「エコライブラリー」を利用することで環境について学ぶことができるほか、定期的で開催している体験教室などに参加することで気軽に4Rに取り組むことができます。また、未就学児向けの環境教育として、ごみの減量に関する紙芝居の読み聞かせを市内の保育園や幼稚園に出向いて実施するなど、環境教育・環境学習の充実を図っています。

2022（令和4）年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組みを一部中止しましたが、10,925人が来館し、4Rの取り組みなどについて学習しました。

施設の利用状況

利用区分 \ 年度	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)
児童・生徒など	2,580	2,601	0	0	0
環境学習団体	118	106	0	0	0
体験教室	104	203	92	77	79
その他	20,061	18,859	9,701	11,257	10,846
合計	22,863	21,769	9,793	11,334	10,925

▼ 施策2 地産地消の促進

1 おおいたマルシェの開催

大分の食や地産地消をテーマとして大分市産品の美味しさ、魅力をPRする「おおいたマルシェ」を開催し、地元農林水産物の消費の拡大や地域における農林水産業の活性化を図っています。

2022(令和4)年度は、11月におおいたマルシェを開催し、約11,000人の来場者に対し、地産地消の取組の大切さを呼びかけました。



おおいたマルシェのロゴマーク

2 大分市地産地消サポーター制度

この制度は地産地消に取り組む消費者・生産者・食品関連事業者をサポーターとして登録し、交流会や料理教室を通じて食に関する様々な分野の人を繋ぎ、地産地消がより活性化することを目的としています。本市はサポーターの活動を広報し、交流の場を設けることなどで、この取組を支援しています。

2022（令和4）年度は、大分東高校、福德学院高校の生徒を対象に産地見学バスツアーを開催しました。また「サポーター通信」を13回発行し、サポーターへ地産地消情報を提供しました。



地産地消サポーターロゴマーク

産地見学バスツアー

学校名	大分東高校	福德学院高校
開催日	2023 (R5) 年 3 月 14 日	2023 (R5) 年 3 月 22 日
場 所	大在・高田	佐賀関・坂ノ市
参加者	21 人	30 人
内 容	市内の完全閉鎖型植物工場（大在）と にら圃場（高田）の見学及び生産者との交流	大分県漁業協同組合佐賀関支店（佐賀関） と山羊牧場（坂ノ市）の見学及び生産者との交流

3 都市・農山漁村交流活動支援事業

農山漁村において、自然・景観・伝統文化等の魅力ある地域資源を利用し、都市住民との交流活動を行う個人・団体を支援することにより、都市住民と農山漁村集落との相互理解を促進し、継続的な地域間交流による農山漁村集落の活性化に寄与することを目的とする事業です。

2022（令和4）年度は、曲の米作り体験、田ノ浦のビワの収穫体験など13回の活動が行われ、都市住民が農山村部を訪れ、自然や農業とふれあい、地域の人たちと交流を深めました。



田ノ浦のビワの収穫体験

(1) 援農かせ隊活動推進事業

都市住民が農作業を体験し、農業者との家族的なつきあいを通じて、農業の魅力と厳しさ、農村・自然環境の現状について認識を深めてもらうとともに、農業ボランティア（援農かせ隊）を確保し、互いの交流による地域の活性化等を目的とする事業です。

2022（令和4）年度は、年間で延べ186人が援農ボランティア活動に参加しました。



田植えのボランティア活動



野菜苗植付のボランティア活動

4 大分市学校給食地産地消推進会議

地元産食材の生産や販売の関係者、行政、学校関係者からなる推進会議では、農産物を主体とした地場農林水産物の学校給食への活用などを協議し、あわせて関係者の相互理解を深めることにより、地産地消や食育を推進しています。2022（令和4）年度は会議を10回開催しました。

5 学校給食における地産地消の推奨

毎月19日の「食育の日」の前後を「おおいた産給（サンキュー）の日」として、学校給食への地元産食材の利用を進めています。2022（令和4）年度の本市の学校給食における大分産食材料の使用割合は、71.3%（食材重量ベース）でした。



生産者からピーマンの説明を受ける児童



地元産の食材を使用した
「タマトマトマピーチーズ焼き」

▼ 施策3 環境情報の活用

1 環境白書の公表

本市では、大分市環境基本条例に基づいて、毎年度「環境白書」を作成し、環境の現状や「大分市環境基本計画」の各種施策の進捗状況などを公表し、市民の環境に関する理解を促進することとしています。

作成した「環境白書」は市民図書館・県立図書館・環境対策課・本市ホームページで閲覧することができます。

第2節 市民・事業者・NPO等との連携を進めます

▼ 施策1 人材の育成やネットワーク化の推進

1 地球温暖化対策おおいた市民会議

市民、事業者、行政から構成される「地球温暖化対策おおいた市民会議」は、本市の地球温暖化防止の取組の推進母体として、温室効果ガス削減に向けた身近な対策を提起し、様々な市民運動を推進しています。

2022（令和4）年度は9回の会議を開催し、「第3期地球温暖化対策実行計画」の進捗を協議したほか、「大分市地球温暖化対策ガイドブックの改訂」「節電キャンペーン（夏・冬）」「地球温暖化対策出前授業」などの活動を展開しました。

2 環境保全活動団体のネットワーク事業

本市では環境保全活動団体の登録と、団体のネットワーク化を推進しています。また、各種団体の取組を推進するため、大分市環境保全活動団体支援補助金を交付しています。

2022（令和4）年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、登録されている37団体の相互の連携や活性化を目的とした、大分市環境保全活動団体連絡会の開催は中止となりました。

3 「大分市人材バンク」の充実

幅広い知識や経験を有するNPO法人やボランティアグループ、生涯学習指導者などの活動状況を「大分市人材バンク」に集約し、本市のホームページやライフパル（市民活動・消費生活センター）のホームページと連携することで、市民や地域などへ広報や情報提供を行っています。



大分市人材バンクの
トップページ

4 武漢市との環境保全、ごみ減量等に関する国際交流・協力事業

友好都市の中国武漢市とは、40年を超える交流の歴史を重ねる中、環境分野の交流・協力をさらに推進するため、2017（平成29）年7月には大気汚染や水質汚濁などの防止を目的とした「環境保全に関する交流覚書」と、家庭から排出されるごみの減量・リサイクルの推進を目的とした「循環型社会の形成に関する交流覚書」をそれぞれ締結しました。

これらの覚書に基づき、環境担当職員の相互訪問や現場視察を通じて、環境規制や廃棄物規制に係る法制度、対策実務の意見交換を行い、事業の成果を各都市の施策の推進に活用しています。



交流覚書の締結式
[2017(H29).7
武漢市城市管理委員会にて]



藻類回収による水質改善対策
[2019(R1).7 武漢市にて]



東湖での武漢市職員との意見交換
[2019(R1).7 武漢市東湖水質監視センターにて]

2022（令和4）年度は、新型コロナウイルス感染症の流行の影響を受け、交流、協力事業は中止となりました。

今後は、対面交流の機会が回復する中、武漢市とは環境分野における相互の交流・協力事業を推進することとしています。

5 脱炭素社会に向けた連携協定

本市は、「2050年ゼロカーボンシティ」に向けた取組をさらに推進するため、2022（令和4）年度は、以下の表のとおり、各事業者と連携協定を締結しました。

これらの協定に基づき、市民、事業者、行政の協働によるカーボンニュートラルの実現、地球温暖化対策の一層の推進を図っています。

協定名	カーボンニュートラル等に係る包括連携協定	地球温暖化対策に関する連携協定
協定日	2022（R4）年12月27日	2023（R5）年2月20日
相手方	九州電力株式会社大分支店および 大分県信用組合	大分瓦斯株式会社
協定内容	<ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラルに向けた取組に関する こと ・市民の安全、安心、豊かな暮らしに向けた取 組に関すること ・事業者の環境経営（省エネ経営）に向けた取 組に関すること ・防災対策（BCP含む）の取組に関すること ・環境教育に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務・産業部門における省エネルギーの推 進に関すること ・家庭部門における省エネルギーの推進に関 すること ・市有施設における地球温暖化対策に関する こと ・先進的な脱炭素のまちづくりに関すること ・市民の地球温暖化対策に関する意識醸成と 実践行動の推進に関すること

施策2 環境保全活動の促進

1 こどもエコクラブ事業

こどもエコクラブは、幼児（3歳）から高校生まで、誰でも参加できる環境活動のクラブです。

子ども一人以上（メンバー）と活動を支える一人以上の大人（サポーター）がいれば、いつでもクラブをつくって「こどもエコクラブ全国事務局」に登録することができます。登録した各クラブは、地域に適した環境保全活動（自然観察、ごみ拾い、リサイクル等）を通じて、自然を大切に思う心を養い、環境問題解決について自ら考え行動し、地域でその輪を広げています。

また、登録したクラブには、活動に必要なパンフレット等が配布され、賠償責任保険による活動支援などの特典があります。

エコクラブ登録数

年度	登録数
2018 (H30)	11
2019(R1)	8
2020(R2)	7
2021(R3)	7
2022(R4)	6

2 大分市環境保全活動功労団体表彰等

市民団体による環境保全活動を推進するため、「大分市環境保全活動功労団体表彰制度」に基づき、特に優れた環境保全活動を行っている団体を表彰しています。2022（令和4）年度は、月・木隊、大分いこいの道協議会の2団体を表彰しました。

また、この表彰式にあわせて「エコアクション 21（EA21）」の長期認証・登録事業者に対する感謝状贈呈式を行っています。

2022（令和4）年度は、河野電気株式会社、株式会社献崇開発、大分エコセンター株式会社、ANA I株式会社の4事業者に感謝状を贈呈しました。



環境保全活動功労団体の表彰



EA21長期認証・登録事業者の表彰